

**菊陽町人権子ども集会から**

12月1日(土)に菊陽町人権子ども集会が開かれ、本校からも37名の児童と職員で参加しました。この人権集会に向けて、人権委員会の、一花さん、桜空さん、美裕さん、智亮さんは5回ほど実行委員会に出席し、他の学校の子どもたちと話し合いを重ねてきました。当日も南小の発表を引っ張ってくれました。

南小の発表は、一番はじめでした。全体を通した練習は2回ほどしかしておらず心配していましたが、一花さんが堂々とはじめのあいさつを終えると、「ビリーブ」の合唱を終えるまで、みなみっ子は元気に明るく発表をすることができました。



人権委員を中心に頑張りました

発表を終えた後に、会場からお返しのことばがありました。「本当の気持ちを伝えられていないので、今度から正直に伝えていきたい。」「1年生の発表で、自分の気持ちを手紙に書いて伝えたのはとてもいいことだと思う。」などたくさんのお返しをもらって、みっ子が発表したことが、会場のみんなに伝わったことがわかりました。



中学生からもたくさんのお返しのことばがありました

この子ども集会は、今年で34回を迎えたそうです。ちょうど私が就職した年からはじまっています。最近ではインターネットやSNSで悪口を書き込む人があるなど、34年前からすると考えられないようなことが起こっています。しかし、当時から変わらないのは、差別やいじめをなくして、みんなが楽しく笑顔で過ごせるようにしていきたいという気持ちです。いつになってもこの気持ちを大切に、行動できるような子どもを育てていきたいと強く感じました。

**避難訓練を実施しました
いつ起こるかわからない想定で実施**

11月27日(火)に地震を想定した避難訓練を実施しました。

この日は、全校朝会で防災主任の藤島先生から、地震はいつ起こるかわからない、どの場所においても自分の命を守るようにと、学校内のいろいろな場所での避難方法を教えていただきました。

藤島先生から、教室ばかりでなく、特別教室、図書室、体育館、運動場、トイレまで、それぞれの場所での避難方法がスライドで説明され、子どもたちはしっかりと頭に入れていました。

しかし、今回は、これまでのように教室で一斉に担任の先生の指示に従って避難するのではなく、この日いつ訓練があるか、子ども達には伝えていませんでした。自分で身を守り、放送で指定された避難場所に自分で行かなければなりません。低学年の子どもたちは、もうドキドキで過ごしていました。

訓練は、2時間目の休み時間に放送を流して開始しました。放送で校舎の中は静まりかえり、思い思いの避難をしました。たまたま体育館にいた3年生は、上を見て落下物がないか予想しながら、頭を守って避難していました。教室にいた2年生は、以前作っていた防災ずきんをかぶり、二次避難をしました。雨のため二次避難場所は体育館でしたが、素早い集合ができ、先生方の人員確認も素早く終了しました。私からは、自分の命を守る行動ができたか。真剣に取り組めたか、おしゃべりはなかったかを確認し、今後も万一に備えた行動ができるように話をし、避難訓練を終えました。



防災主任から避難方法を聞きました



防災ずきんをかぶって二次避難

体育館で3年生は地震に遭遇！

学校賞獲得

昨年度、本校で発行した各種通信が総合的に評価され、理想教育財団から学校賞をいただきました。

渡邊前校長先生が、29年度に発行された諸通信をすべてまとめて、財団が主催している「プリントコミュニケーションひろば」に応募されました。その結果、地域の皆様との連携を高く評価され、学校賞と副賞の図書券3万円をいただきました。渡邊前校長先生に感謝しつつ、南小の新刊購入に使いたいと思います。(渡邊校長先生から「私の分はないのかな??」と声が聞こえてきそうですが・・・)ありがとうございました。



**12月6日(木)は学習発表会です。
13:00からです。ぜひお越しください。**

ま
つ
ぼ
り
風
の
夢